

サッカーワールドカップロシア大会

## 応援給食（ロシアの料理）

平成30年 6月 5日（火）



### テーマ：ロシア料理

いよいよ6月14日からロシアで21回目のサッカーワールドカップが開かれます。ロシアは、日本の約45倍の大きさがあります。エネルギーをたくさん取り込んで寒さに耐えるためか、油を使う料理が多いのが特徴です。また、ピクルスやジャムなどのさまざまな保存食を作り、長く厳しい冬に備えるのも特徴です。

今日は、ワールドカップ給食の一日目でロシア料理です。ビーツという真っ赤なかぶを使った「ボルシチ」とロシアのポテトサラダ「オリヴィエサラダ」、いちごジャムと紅茶を使った「ロシアンティームース」を献立に入れました。味わって食べてくださいね。